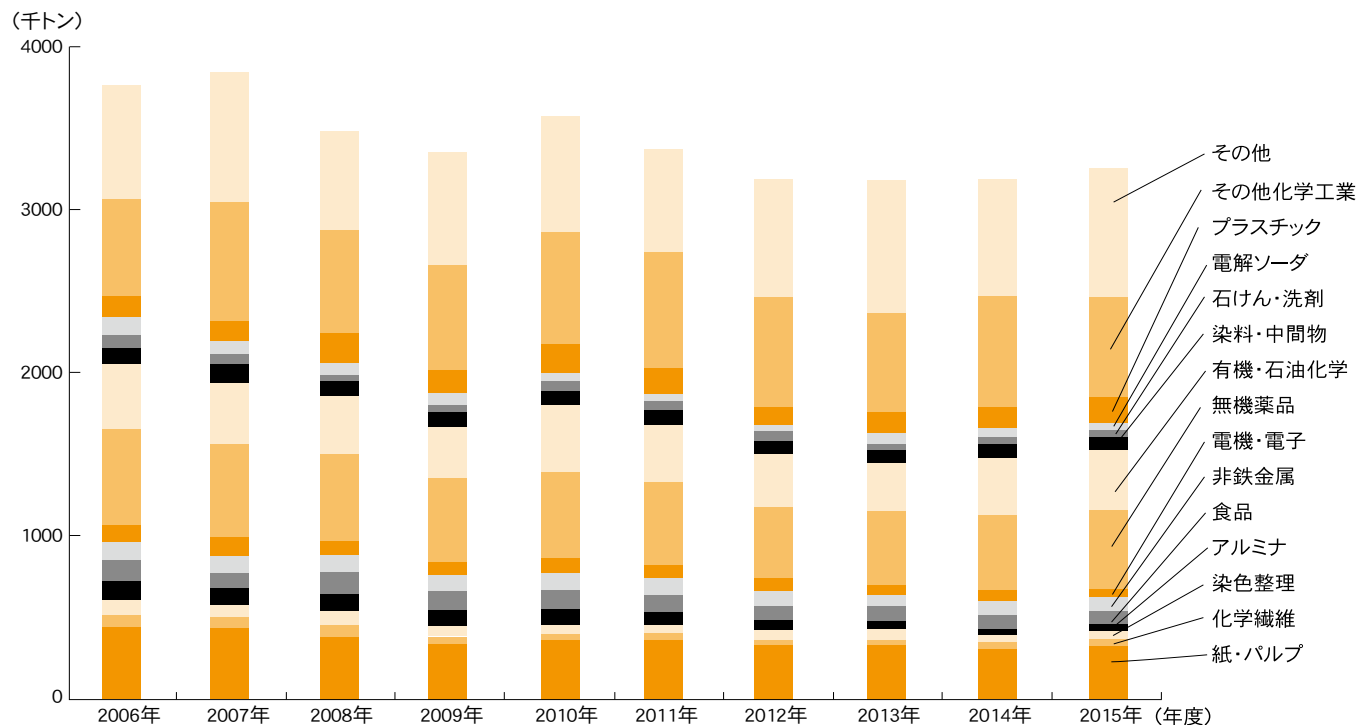


カセイソーダの内需推移



(単位：千トン)

用途部門	年度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
紙・パルプ		428	401	368	313	334	329	302	310	296	306
化学繊維		78	79	68	58	59	65	56	57	55	56
染色整理		100	92	75	66	65	59	48	48	46	46
アルミナ		105	101	97	73	67	66	51	31	26	23
食品		154	148	133	115	117	98	88	84	83	86
非鉄金属		109	121	116	102	106	103	92	84	81	88
電機・電子		107	110	95	89	94	81	74	71	70	66
医薬・農業*		72	42	65	61	68	61	57	58	54	30
鉄鋼*		55	53	49	47	45	43	41	44	44	46
上下水道*		64	60	57	55	53	48	45	45	48	43
無機薬品		557	552	539	503	530	506	461	451	446	452
有機・石油化学		420	401	349	326	408	370	324	292	361	381
染料・中間物		97	99	89	94	94	76	73	80	79	77
石けん・洗剤		69	71	64	54	53	48	44	43	43	44
電解ソーダ		99	89	72	68	68	64	58	57	54	53
プラスチック		161	167	150	149	159	151	126	132	144	157
その他化学工業		693	754	641	637	699	701	638	609	679	621
その他		418	509	438	518	545	520	599	668	576	655
合計		3,786	3,849	3,465	3,328	3,564	3,389	3,177	3,164	3,185	3,230

注1) 需要内訳は、輸入を含まない出荷実績による。

注2) グラフの「その他」には、上の表の*「医薬・農業」「鉄鋼」「上下水道」が含まれる。

カセイソーダは、様々な分野で使用されている基礎素材製品であり、需要の裾野が非常に広いことが特徴の一つとなっています。

2015年度内需は、対前年度比+1.4%の3,230千トンとなりました。

項目別に見ると、主力の化学工業向けでは、無機薬品、有機・石化、プラスチック、石けん・洗剤などが増加し

たことから、化学合計でも前年度比で+1.2%の増加となりました。

さらに、紙・パルプ、化学繊維、食品などの分野でも増加しました。

一方、アルミナ、上下水道、医農薬向けなどが減少しました。